

長歯連盟だより

令和3年2月5日 (第56号)

発行所：長崎県歯科医師連盟

〒852-8104 長崎市茂里町3番19号

☎095(848)5311 FAX(846)0175

編集兼発行人：田中靖彦

新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 会長 宮口 巖



新春を迎え、会員ならびにご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃より連盟活動に対し多大なご支援、ご協力、またご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、1年間を通じ新型コロナウイルス感染症に明け暮れました。昨年10月からの第3波は、大都市だけではなく地方でもすさまじい勢いで拡大しており、本県においてもかなりの勢いで感染が広がっている状況が続いております。本連盟においても、県歯と連携を取りながら感染症対策に取り組んでおります。本号が発刊される頃には、ある程度収束していることを願っているところです。

さて、平成22年6月4日施行されました「長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」ですが、その後の関係法律の制定、国の「骨太の方針」を踏まえ、長崎県が掲げる「健康長寿日本一の長崎県づくり」に寄与できるよう、県歯と連携し、昨年4月、条例改定の請願書を県議会議長に提出しました。その改定議案が昨年末開催の県議会に上程され、12月18日に全会一致で可決、12月25日に公布、施行されました。改定条例には、オーラルフレイル対策、災害時の歯科保健・医療の提供に係る施策など、より各論的な内容が追加され、全国的に見ても先進的な内容になっております。今回の改定においては、自民党県連と数回にわたり意見交換を行い、スムーズに改定が実現しました。日頃からの自民党県議団との良好な関係の賜物と考えております。

既にご存知とは思いますが、次期参議院比例代表選挙の日歯連盟組織代表に山田宏氏が決定しました。山田氏は歯科医師でないため、臨床現場の現状や痛みを的確に伝えられるのか危惧するところですが、組織代表として政界に送り出すことが決定したからには、歯科界の代表として活動をしていただく必要があります。さまざまなご意見があるとは思いますが、来年7月に予定されております参議院議員選挙では、多くの票を獲得し、長崎県歯科医師連盟の集票力を自民党及び県行政へアピールすることが重要と考えております。また、本年10月には衆議院議員の任期満了を迎えます。新型コロナウイルス感染症が拡大している中、菅首相は解散の判断をできない状況にあるようですが、本年10月までには間違いなく総選挙が実施されます。どちらの選挙におきましても、会員の先生方のご支援、ご協力をお願いします。

歯科界の明るい未来を構築するためには、国民皆保険制度の堅持、歯科保健医療の充実、税制改正に関する要望、歯科医師の需給問題の解決など、政治の力が不可欠であることは明白です。我々執行部の任期も残り僅かとなりましたが、残された期間、精一杯の活動をして参りますので、会員の皆様におかれましては、このような連盟活動の重要性をご理解いただき、引き続き、長崎県歯科医師連盟へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新 年 ご 挨拶

長崎県知事 中 村 法 道



あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、世界中で拡がりを見せた新型コロナウイルス感染症については、本県においても、3月に初めての感染者が確認されて以降、感染拡大防止等の対策に力を注いでまいりました。収束は未だ見通せない状況にありますが、感染症の予防・拡大防止対策を講じつつ、社会経済活動の回復・拡大に向けた対策を実施することが重要であると考えておりますので、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

さて、本県では、「まち」の佇まいが大きく変わろうとしています。

九州新幹線西九州ルートの中崎～武雄温泉間については、開業時期が「令和4年度秋頃」との見通しが示されました。県としては、これまで以上に市町や経済団体等と連携しながら、県民の気運醸成を図り、開業効果を最大限に高め、県内全域に波及させるための取組を進めてまいります。

この新幹線整備とあわせ、中崎駅周辺においては、鉄道在来線の高架化事業が昨年3月に完成するとともに、新しい中崎駅舎が開業しました。今後、交流拠点施設やホテルなどまちの賑わいを生み出す施設の整備も進むことから、公共交通機関の乗り継ぎの利便性向上にも取り組んでまいります。引き続き、新幹線開業後のまちづくりを見据えて、官民が連携してまちの魅力を高め、賑わい創出に繋がるよう努めてまいります。

さらに、県庁舎跡地の活用についても、歴史ある石垣なども活かしながら、県民市民や観光客をはじめ若い方々や企業、学生などが集い、本県に新たな活力をもたらすような交流・賑わいの場の整備を目指し検討を進めてまいります。

また、特定複合観光施設（IR）区域の整備については、IR事業者を夏頃までに選定し、事業者とともに、国に申請する区域整備計画を作成するなど、今年是非常に重要な1年となります。今後とも、九州各県や経済団体など関係皆様方と一層の連携を図りながら、九州・中崎IRの実現に全力を注いでまいります。

佐世保港浦頭地区においては、官民連携による国際クルーズターミナルが昨年8月に完成いたしました。2バース化に取り組んでいる中崎港とあわせて、国や船会社、関係機関と連携しクルーズ船の受入環境を整備してまいります。

昨年も豪雨や台風による災害が発生しましたが、県民の皆様が安心・安全で快適に暮らしていただけるよう、激甚化・頻発化する災害に強く命を守る強靱な地域づくりも推し進めてまいります。

また、産業分野においては、海洋エネルギー関連産業やAI・IoT・ロボット関連産業、航空機関連産業などの新分野で新たな動きがあり、「産業構造」が大きく変わりつつあります。

海洋エネルギー関連産業においては、大幅な市場の拡大が期待されており、本県では、こうした需要を取り込むため、サプライチェーンの構築やアジア初の海洋エネルギーの専門人材育成機関として中崎海洋アカデミーを創設するなど、産学官連携で関連産業の育成に全力を注いでおります。

AI・IoT・ロボット関連産業については、昨年、中崎大学情報データ科学部が開設されるなど、情報系人材の教育環境が充実してきております。このような中、近年、日本を代表する情報サービス系企業の研究・開発拠点が相次ぎ立地しており、県としては、こうした誘致企業と地場情報系企業の連携を進め、情報産業の事業拡大を目指しているところであります。

また、航空機関連産業では、既に10社を超える中小企業が造船で培った高い金属加工技術を活かして、航空機産業に参入しているなか、昨年11月には三菱重工航空エンジンの長崎工場が誕生したところであり、県内企業の新たな取引へとつながるよう、県内のサプライチェーンの構築・強化に努めながら、航空機産業の育成に力を注いでまいります。

さらに、半導体分野においても5G関連の需要拡大を受け、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの新工場が建設されており、1,000名規模の新たな雇用の場も誕生することとなります。

加えて、昨年4月から、スタートアップ交流拠点CO-DEJIMAを拠点として、十八親和銀行、長崎市などと連携した「オープンイノベーション型新規ビジネス創出」に取り組んでおります。その結果、首都圏の企業にも参画をいただき、ビジネス化に向けた複数のプロジェクトが始まるなどの成果も出てきております。

このように、まちや産業が大きく変わり、100年に一度とも言えるべき大きな変革の時期を迎えている中、本年は県政150周年の記念すべき年にも当たります。県としては、今春から新たな総合計画をスタートさせ、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響など様々な課題に対応するとともに、新幹線の開業効果拡大、次なる基幹産業の創出など、県民の皆様とを一つにして、チャンス地域を活性化につなげる施策に取り組み、力強い長崎県づくりにチャレンジしてまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

新 年 の ご 挨拶

昨年は連盟の円滑な運営にご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

本年も何卒よろしくご指導ご協力の程お願い申し上げます。

令和3年2月

長崎県歯科医師連盟

- | | | | | | |
|-------|-----------|------|---------|-----|---------|
| 会 長 | 宮 口 厳 | 常任理事 | 森 太 | 理 事 | 松 添 裕 之 |
| 副 会 長 | 品 川 光 春 | 同 | 吉 田 敏 | 同 | 中 村 淳 |
| 同 | 小 川 豊 久 | 同 | 疊 屋 文 人 | 同 | 森 川 弥 之 |
| 同 | 山 田 雅 弘 | 同 | 佐 藤 晃 一 | 同 | 森 本 智 |
| 同 | 松 島 俊 一 郎 | 同 | 奥 村 晃 | 監 事 | 宮 崎 宏 延 |
| 同 | 中 村 康 司 | 同 | 山 本 英 一 | 同 | 坂 口 秀 平 |
| 同 | 高 木 浩 司 | 同 | 日 野 直 樹 | 顧 問 | 南 幸 夫 |
| 理 事 長 | 田 中 靖 彦 | 同 | 安 部 重 幸 | 同 | 音 山 泰 宏 |
| 常務理事 | 井 手 祥 二 | 理 事 | 山 田 和 道 | 同 | 許 斐 義 彦 |
| 常任理事 | 渋 谷 昌 史 | 同 | 竹 村 正 士 | | |
| 同 | 俣 野 正 仁 | 同 | 江 田 和 夫 | | |

新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 品川光春



連盟会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症蔓延により自粛ムードの中でお正月を迎え、静かなお正月を過ごされたのではないのでしょうか。

今回の世界的規模の予期せぬ感染症の拡大により、東京オリンピックも今年に延期され、学校の休校やオンライン授業、職場ではリモートワークを実施していくことなど、今まであまり考えていなかったことが一気にせざるを得ない状況になっています。

県民・国民はもちろん、私たち歯科医療従事者が不安なく仕事や生活ができる環境や制度を考え、実践していくのは行政や政治の役割ですが、今回のような非常事態では行政だけでは十分に対応できず、最終的には政治主導になることを如実に改めて実感しています。

この度の新型コロナウイルス感染症では、昨年4月、5月頃には感染者の急増や歯科に対する風評被害もあり歯科診療所の受診者も減少したところが多かったと思いますが、歯科界では日頃から感染症対策には万全の対応をしていたこともあり、他業種に比べるとその影響は少なかったのではないのでしょうか。

これからもさまざまな未知の感染症がいつ発症してくるか分かりません。また地震や大規模災害など不測の事態が発生した際にも、常に県民・国民のために良質な歯科医療・保健を提供できる体制を確立していくことが求められています。

歯科医療・保健を推進して歯科界をさらに発展させていくためには、その背景となる国の歯科に関する法整備が不可欠です。介護保険法や労働安全衛生法がその代表であると思いますが、かかりつけ歯科医師の意見書や介護施設への歯科医師の常勤化が認められ、労働者の毎年の歯科健診が義務化され、初再診料が医科と同じになれば、医科歯科の格差はかなり解消されてくると思います。

そのためには法改正が必要となってきますので、国会議員の役割は大変重要になってきます。来るべき衆議院議員選挙、参議院議員選挙では歯科界をしっかりと代弁する議員を選出し、将来に向けて盤石な歯科界を構築していくために、連盟会員はもとより、歯科界全ての人材が結束していくことが必要です。

連盟会員の皆様、他人任せにせず一人一人が真剣に歯科の将来を考え、全力を投入して国政選挙で歯科界推薦の候補者の当選を目指して努力していただきたいと思います。本年も連盟活動のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 山田 雅 弘



明けましておめでとうございます。

長崎県歯科医師連盟会員の先生方には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本連盟に対し、一方ならぬご高配を賜り有難うございました。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに明け暮れた一年でした。その中で歯科医療、歯科医院経営にも多くの影響が有りました。当初は新型コロナウイルスの正体もよく解らず、不安感ばかりが募る状況下で受診抑制が起こり、医院運営にも大きな支障が出ました。その後、種々の対応策が示され夫々の歯科医院で過去の経験を活かしながら適切な対応がなされ、現在に至っておりますが、楽観できると言えるような状況には程遠いと思われま

す。このような中で、これまで日歯連盟が果たしてきた役割は大きく、会員を向いた組織として各種の一般向けポスター等の掲示物作成はもとより、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金や感染拡大防止等支援事業などの政府事業決定に際しても歯科医療界のために大きな役割を果たしたとお聞きしております。

新型コロナウイルス感染症の終息までには、まだまだ時間がかかり、その間歯科医療界にもどのような影響が出るかわかりません、その際に迅速に適切な対応を政治に求めることも連盟の大きな役割であり、会員の期待するところだろうと思います。

日本歯科医師連盟評議員会で、次期参議院比例代表選挙の組織代表候補者として山田宏氏が選ばれました。職域代表と言えるかどうか否定的な意見も聞こえてきますが、現在の医療制度は政治抜きでは考えられません。そのことを十分に理解したうえで、これからの歯科医療界がいろいろな場面で前へ進むために、会員の皆様方には日頃からの活動の重要性を再認識していただき、行動を起こしていただければと思います。

本年もよろしく願いいたします。



新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 高木 浩 司



明けましておめでとうございます。連盟会員の皆様にはお健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より連盟活動に対し多大なご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日常の生活や行動が大きく変化しました。まさにコロナ禍に揺れた一年でした。春先には医療現場でも、マスクや消毒薬など消耗品の不足を招き深刻な状況となりました。連盟では、県歯と協力・連携し、県や国からの優先供給に尽力しました。郡市歯科医師会を經由し会員の先生方のお手元に届いたと思います。

国の第2次補正予算成立後には、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業や感染拡大防止等支援事業が実施されました。これらの事業ですが、当初の厚労省案では歯科は対象外でした。歯科系国会議員の迅速な対応により事業案は修正され、歯科関係も支援を受けることができました。このことは政治力が不可欠であることを示す一例です。第3次補正でも感染拡大防止等支援事業が継続する予定ですので、会員の先生方におかれましては、是非とも有効にご活用していただきたいと思います。

次期参議院比例代表選挙ですが、日歯連盟は山田宏氏（現参議院議員）を候補者として推薦することを決定しました。第140回評議会で、組織代表候補者を擁立することを決定し、その後選考委員会にて答申がなされ、令和2年10月30日開催の臨時評議員会で審議（投票）のうえ、正式に決定しました。「歯科医師以外の候補者」を職域代表として、初めて擁立する決断をしました。

今後、日歯連盟及び都道府県歯連盟が連携し、一丸となり来るべき参議院選挙を見据えて本格的に連盟活動を展開していかなければなりません。県歯連盟としては、早急に地区連盟組織と協力し、選挙体制を整える予定です。宮口会長が2期目就任時に挨拶で述べた「県歯会員イコール県歯連盟会員」を目指し、連盟会員数の強化を図りながら、一人でも多くの先生に、山田氏の経歴・プロフィールや政策を知っていただきたいと考えております。

また、前回の参議院選挙結果（比嘉奈津美氏：県内2,055票獲得、県歯連盟会員一人あたり2.85票）を踏まえて目標数を設定し、確実に票読みが出来るよう取り組んで参りますので、何卒、ご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

結びに、今年一年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



次期参议院比例代表選挙における日歯連盟組織代表候補に 現参议院議員の山田宏氏が決定！

日本歯科医師連盟では、去る10月30日開催の臨時評議員会において、現参议院議員で日本歯科医師連盟顧問の山田宏氏を令和4年7月実施予定の第26回参议院比例代表選挙における日歯連盟組織代表候補として決定しました。

山田氏は、東京都杉並区長を経て、衆議院議員を2期務め、平成28年7月実施の第24回参议院議員通常選挙比例代表選挙において当選を果たし、今回が2期目の挑戦になります。

歯科医師ではありませんが、歯科に対する造詣が深く、組織代表としてしっかりと歯科本来の臨床現場の現状や痛みを伝えていただけるものと思います。

会員の先生方におかれましては、山田宏氏の当選に向け絶大なるご協力をお願いします。



(山田宏氏 of 主な略歴)

- ・昭和33年生まれ (63歳)
- ・京都大学法学部卒
- ・東京都杉並区長3期
- ・衆議院議員2期
- ・平成28年7月より参议院議員
- ・国民歯科問題議員連盟事務局次長

長崎県歯科医師連盟ホームページより様々な 情報を提供しています！



長崎県歯科医師連盟ホームページではさまざまな情報を提供しています。(左は、トップページです)

ホームページより「Facebook」「LINE」「Twitter」「Instagram」にもアクセスできますので、ぜひご利用ください。

「会員のページ」のID、パスワードは長崎県歯科医師会と同じです。(お忘れの場合は事務局にご連絡ください。)

長崎県歯科医師連盟のホームページはこちら

→ <http://www.nda.or.jp/renmei/>



ホームページQRコード



LINE QRコード



Instagram ネームタグ

富岡勉衆議院議員が年末挨拶に来会！



長崎県歯科医師会役員全員で「コロナに克つ！」

去る12月12日（土）長崎県歯科医師会理事会の折、富岡勉衆議院議員が年末のご挨拶に来会されました。ご担当の自民党新型コロナウイルス感染症対策本部・社会保障合同会議の内容についてご説明いただきました。現下のコロナ禍における自民党としての取組みや、必ず「コロナに克つ！」の意気込みで対応していくとの決意と次期衆議院議員選挙への強い意気込みを述べられました。

富岡 勉 第一回拡大選対会議

日 時：令和2年11月21日（土）午後1時

場 所：ホテルニュー長崎3階鳳凰閣

出席者：宮口会長、田中理事長、井手常務理事

衆議院の解散が取りざたされる中、富岡 勉第一回拡大選対会議に宮口会長、田中理事長、井手常務理事が出席しました。会議では、関係団体に対し解散総選挙における支援の依頼があり、選対本部の組織が決定しました。

衆議院議員選挙は遅くとも本年秋口には実施されます。会員皆様の絶大なるご支援、ご協力をよろしく申し上げます。



長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例が改定されました！

平成22年6月4日施行された「長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」ですが、その後の関係法律の制定、国の「骨太の方針」を踏まえ、県歯と連携し、自民党県議団及び県担当課と条例の改定について協議を重ねて参りました。

昨年4月には条例改定の請願書を県議会議長に提出し、その改定議案が昨年末開催の県議会に上程されました。その結果、ご存知のとおり、昨年12月18日に全会一致で可決、12月25日に公布、施行されました。オーラルフレイル対策、災害時の歯科保健・医療の提供に係る施策など、より各論的な内容が追加され、全国的に見ても先進的な内容になっております。日頃からの自民党県議団との良好な関係の賜物と考えており、今後ともより強い連携を図って参ります。

日本歯科医師会・日本歯科医師連盟 令和3年度 制度及び予算に関する重点要望項目

○厚生労働省関係

1. 病院における歯科の設置、歯科医師の配置の推進
 - ◎今後のウイルス感染症の対応に向けての病院における歯科医療体制の充実
2. フレイル対策を口腔から始める「オーラルフレイル対策」の推進
 - ◎新たな生活様式における国民の行動変容に対応した口腔健康管理の充実
3. 生涯にわたり途切れない歯科健診制度の定着
 - ◎保健施策に対応した歯・口腔の実態把握のための継続的な歯科健診の実効的取組
 - ◎都道府県によるパイロットスタディーの早期実施と予算措置の拡充
 - ◎全国統一された健診票標準化の早期策定

○文部科学省関係

1. 安心安全な歯科医療提供を確保するための、歯科大学・歯学部の教育体制の充実への予算措置
 - ◎診療参加型実習を含む教育体制の充実、感染拡大の状況に対応した教育のICT化の推進
2. 学校歯科健診と厚労省所管の歯科健診データとの連携による PHR体制整備の予算措置
 - ◎学校歯科健診データについて「口腔診査情報標準コード仕様」の活用を実証
3. 学校教育現場におけるスポーツマウスガード普及のための予算措置
 - ◎スポーツ指導者へのスポーツ歯科研修の実施とクラブ活動時のスポーツマウスガード着用の推進

日本歯科医師会・日本歯科医師連盟 令和3年度 税制改正に関する重点要望項目

1. 消費税関係

- ◎社会保険診療に係る消費税は引き続き非課税扱いとし、控除対象外消費税を適切に検証の上、必要な財源を確保し、診療報酬改定により過不足なく補填を行われたい。

2. 事業税関係

- ◎社会保険診療報酬に対する事業税非課税の特例措置を存続されたい。

3. 地域医療支援関係

- ◎社会保険診療報酬の所得計算の特例措置（いわゆる四段階制）を本来の制度趣旨に基づき存続されたい。

4. 設備投資支援関係

- ◎小規模医療機関の新規設備投資を促し、社会や医学の進歩に適応しつつ地域医療に貢献できるように支援するための措置として、160万円以上の医療用機器または医療情報システム用機器を取得した際に即時償却、または10%の税額控除の選択適用の制度を新設されたい。

5. 事業承継支援関係

- ◎個人版事業承継税制における承継の円滑化を促進するために、手続きを簡素化されたい。

6. 新型コロナウイルス感染症関連税制

- ◎新型コロナウイルス感染症対策の設備投資について特例措置を創設されたい。



本連盟会員大久保潔重氏が諫早市長選への出馬を表明！

本連盟会員の大久保潔重氏（現県議会議員、元参議院議員）が、任期満了に伴う諫早市長選（3月21日告示、3月28日投開票）へ無所属で出馬することを表明しました。

大久保潔重氏の当選に向け、本連盟でも可能な限りの支援をして参りますので、会員各位の絶大なるご支援、ご協力をお願いします。

会員の入会（令和2年9月～令和2年12月）

| 入会年月日 | 郡市会 | 氏名 | 備考 |
|---------|-----|-------------------|----|
| 2.12.14 | 西彼 | あらき だいすけ 荒木 大典 | |

長崎県歯科医師連盟の動き（令和2年9月～令和2年12月）

- 9月8日 連盟だより編集会議 出席者：宮口会長他8人
- 9月14日 連盟打合せ（音山顧問日歯連盟褒賞記念品、表彰状の授与）（長崎市）
出席者：宮口会長他1人
- 10月8日 参議院比例代表選挙候補者選考委員会（日歯） 出席者：宮口会長
- 10月9日 都道府県歯科医師連盟会長会議（WEB会議） 出席者：宮口会長
- 10月16日 参議院比例代表選挙候補者選考委員会（日歯） 出席者：宮口会長
- 10月30日 日歯連盟臨時評議員会（日歯） 出席者：宮口会長
- 11月12日 連盟監査会 出席者：宮口会長他4人
- 11月21日 福岡 勉第一回拡大選対会議（長崎市内） 出席者：宮口会長他2人

「会員の声」原稿募集

本誌では、会員からの投稿欄「会員の声」の原稿を募集しておりますので、建設的な意見・要望などをお寄せください。

投稿規定は次のとおりです。

◇原稿の採否は編集兼発行人にご一任ください。

なお、掲載の採否のお問い合わせはご遠慮ください。

また、編集及び校正については編集兼発行人にご一任ください。

◇原稿には表題を必ず明記してください。

◇匿名での原稿は受付をいたしません。

◇投稿者は氏名・年齢・所属郡市会を明記し、県歯連盟宛に郵送又はFAXでお寄せください。

編集あしがき

令和3年が明けて間もないですが、日本全国において新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っています。東京や大阪などの大都市近県につづき福岡県でも2回目の緊急事態宣言が発令されました。このような大きな災いに見舞われる中で我々はしっかりと歯科医院経営を行っていかねばなりません。第一には自助努力、そして歯科医師会などのサポートによる共助が必要なのは言うまでもありません。しかしながら災いが大きくなればなるほど必要になるのが何と言っても国や自治体からの公助であり、昨今の世相の中で連盟活動の重要性を改めて実感しているところです。今年は遅くても秋までに衆院選があり、来年には参院選も控えています。組織代表候補者も決定しました。皆様のご協力のほどよろしく申し上げます。力を合わせて暗い時期を乗り越え明るい未来に繋げていきましょう。（森本 智）